



アフターコロナにおける外食産業の 食品ロス削減推進事業

東京都食品ロス削減パートナーシップ会議（第15回）



2025年2月7日

RECOTECH

1. 都内外食産業の2030年度までの食品ロス発生量の推計

- 東京都は2020年度と比較し、2030年までに食品ロスの発生量を半減させることを目標としている
- 都内で発生する食品ロスのうち、約4割が外食産業から発生している
- 本事業では、都内の外食産業における2030年度までの食品ロス発生量を推計し、発生状況を把握する

2. 効果的な食品ロス削減対策のご提案

- 外食産業の各店舗へのアンケートにより、食品ロス発生量の削減に資する施策を検討する

<アンケート設問例>

- 既に実施している対策やその効果
- 取り組みを行う上での課題感
- 削減効果が期待できると感じる対策
- 東京都に期待する支援

推計手法

日本全体の外食産業
の食品廃棄物

都内外食産業の
食品廃棄物

不可食部
39.3%

可食部
(食品ロス)
60.7%

① 都内外食産業の食品廃棄物の2030年度までの発生量を予測

1. 過年度の都内外食産業の食品廃棄物量データと外食産業全体の売上高などの外的要因データとの関係性から、食品廃棄物の発生量に影響を与えるパラメータとその影響度合いを特定し、**重回帰分析式を算出**。
2. 都内外食産業の売上高の将来予測値を重回帰分析式に代入することで、**2030年度までの都内外食産業全体の食品廃棄物発生量を推計**。

② 都内外食産業全体の食品廃棄物量を業態別に按分

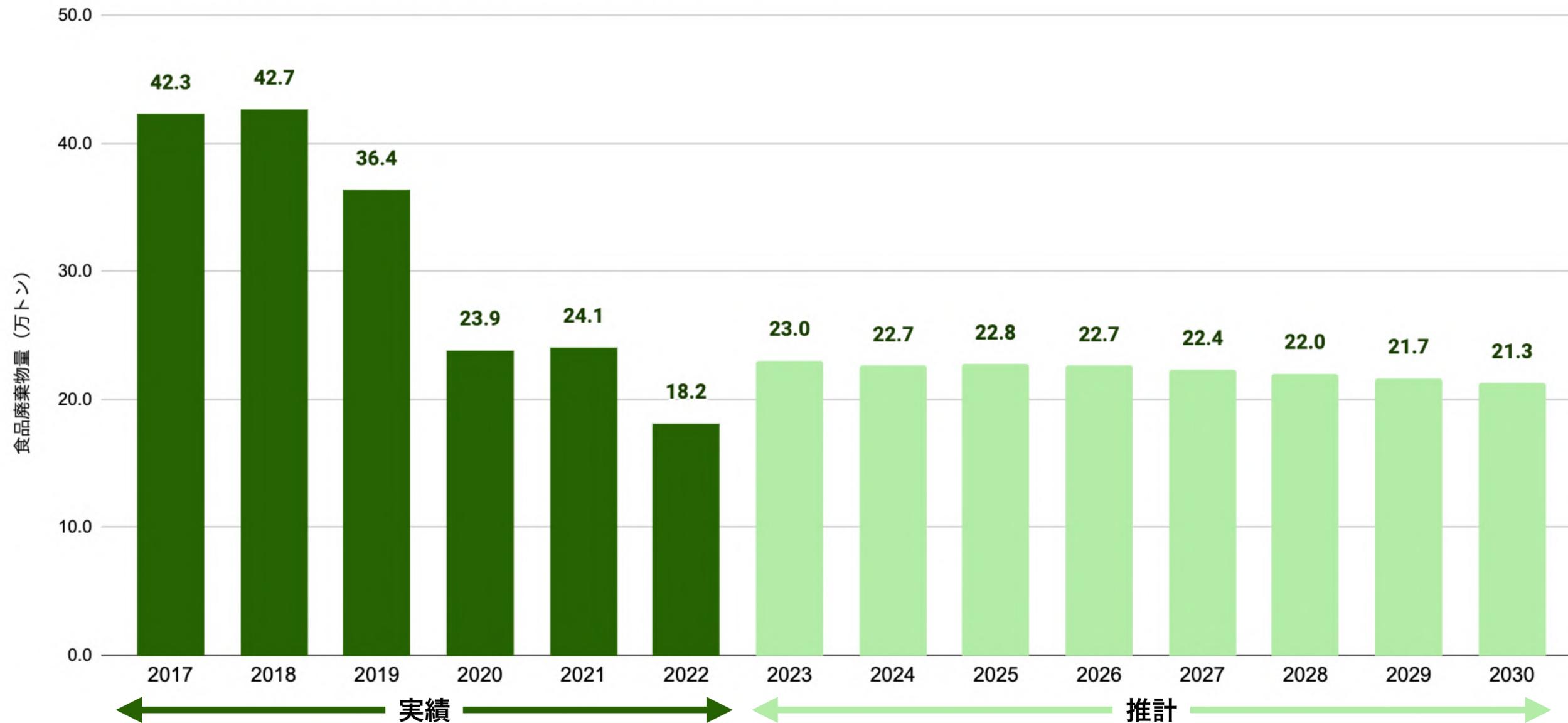
業種別売上高、業種別食品ロス発生抑制目標値をもとに、業種別に按分。

③ 食品廃棄物に含まれる“食品ロス”割合を考慮

農林水産省「食品廃棄物の可食部・不可食部の量の把握調査」より、外食産業の可食部割合を、業態別の食品廃棄物量に乗じた。

推計結果：食品廃棄物量の将来推計 *BAUケース

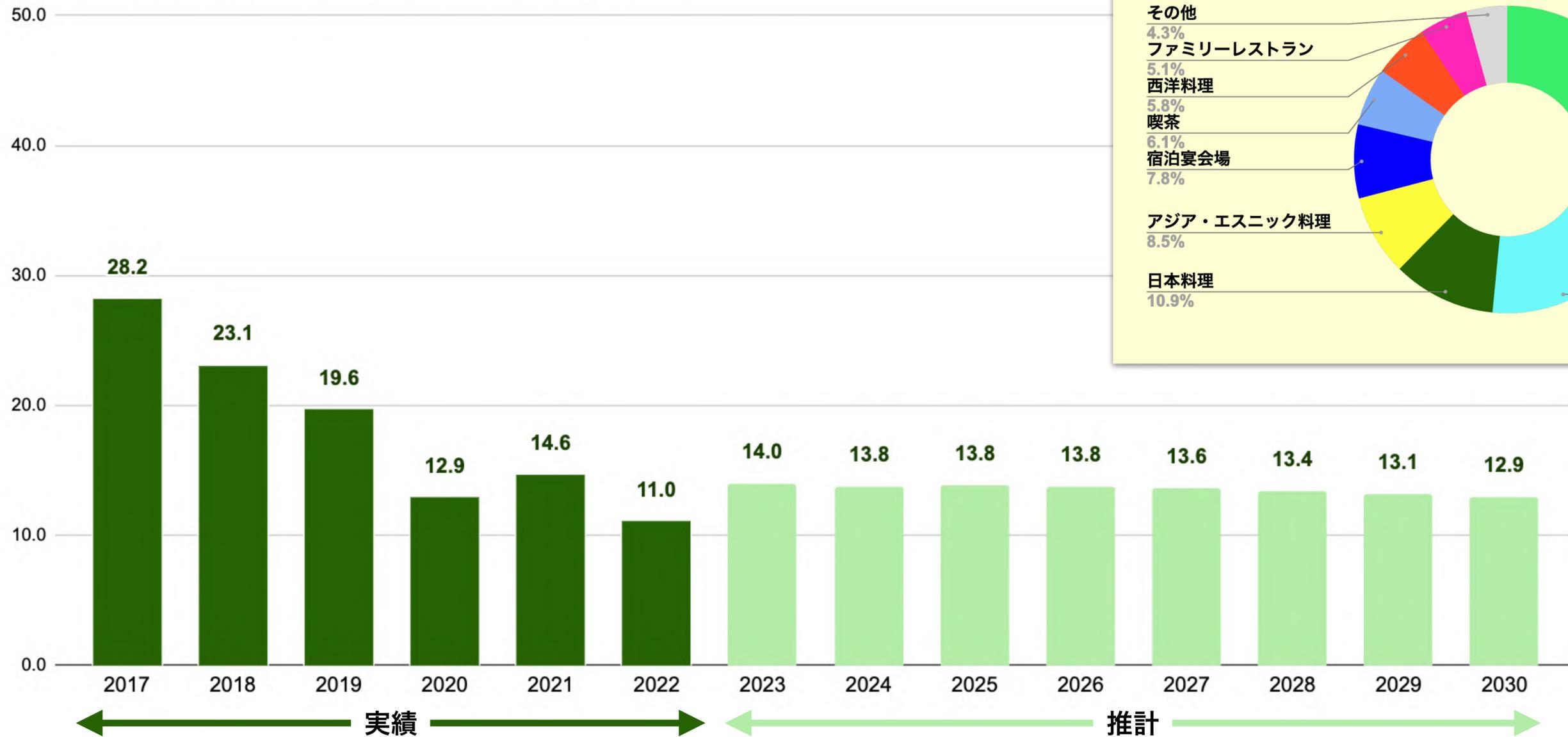
食品廃棄物量の推移または食品廃棄物量の推計結果（万トン）



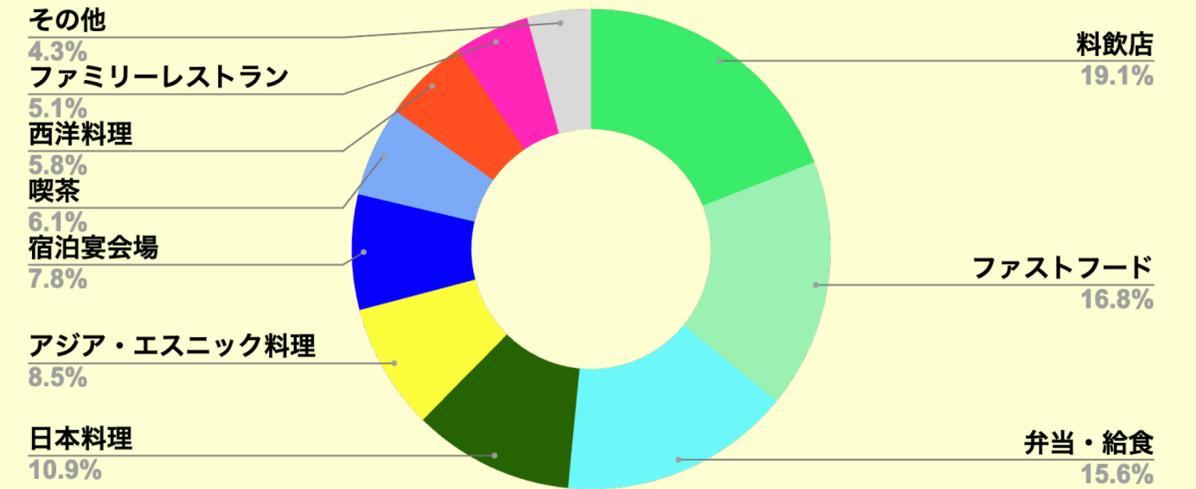
1. 都内外食産業の2030年度までの食品ロス発生量の推計

推計結果：食品ロス量の将来推計 *BAUケース

食品ロス量の推移または食品ロス量の推計結果（万トン）

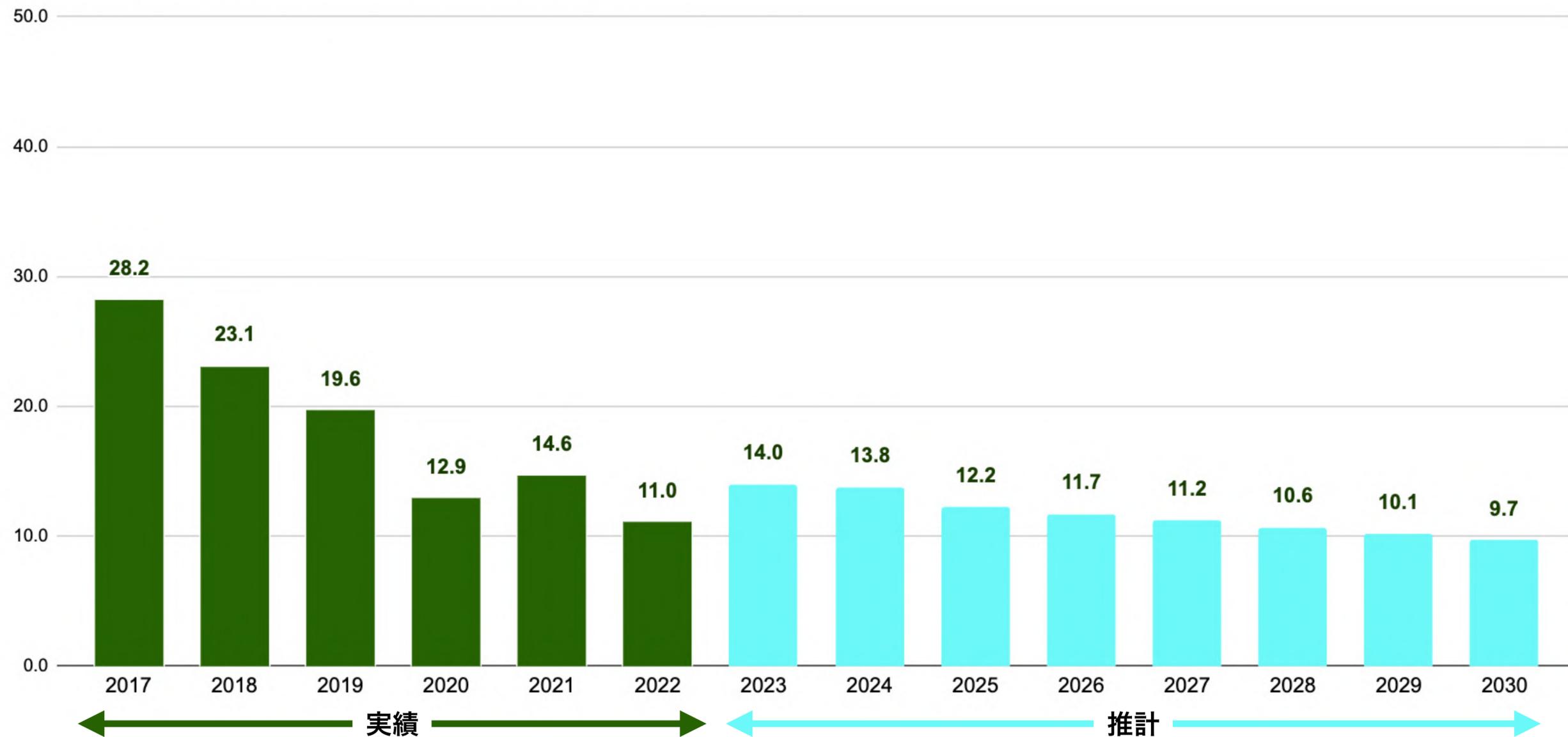


業態別食品ロス内訳 *2022年度



推計結果：食品ロス量の将来推計 *削減対策ケース

食品ロス量の推移または食品ロス量の推計結果（万トン）

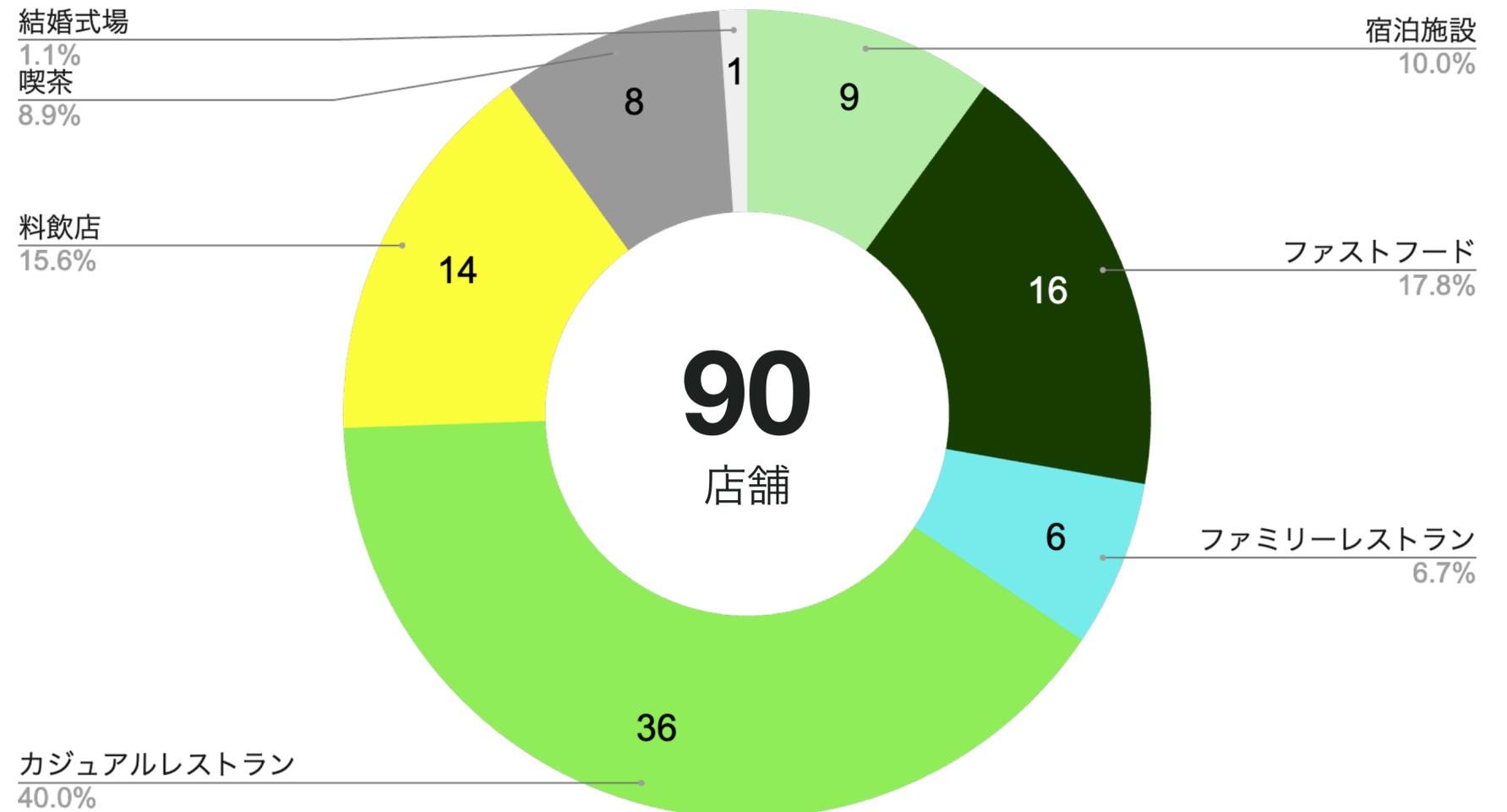


2. 効果的な食品ロス削減対策のご提案

都内外食産業店舗に対してアンケート調査を実施

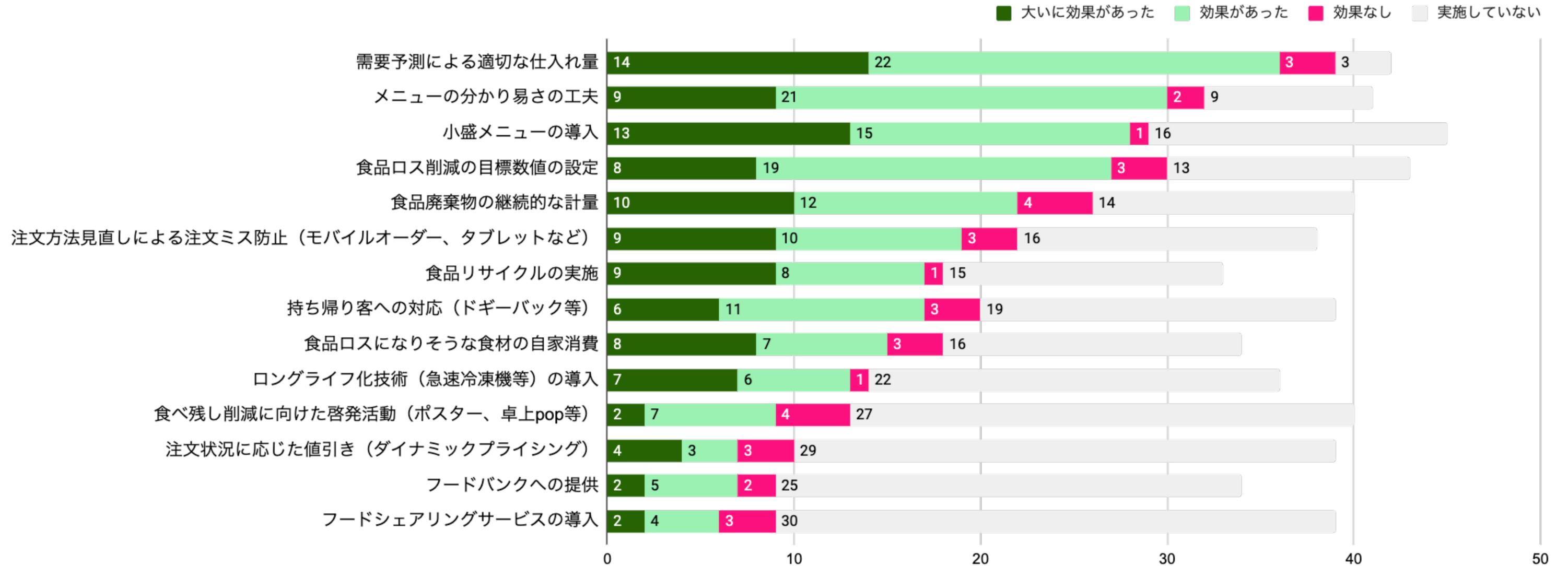
アンケート実施概要	
目的	以下に示す内容の把握 <ul style="list-style-type: none">食品ロスの排出実態新型コロナウイルス感染症5類移行前後の食品ロスの発生動向食品ロス削減対策の実施状況やその効果、実施する上での課題等
対象者	東京都内にある外食関連事業者、飲食店の店舗担当者
実施期間	2024年7月～11月
調査媒体 (回答方法)	Google Form (オンライン)
調査媒体の配布方法	<ul style="list-style-type: none">複合商業施設や各飲食産業企業に対し、店舗への展開を依頼し配布外食産業・宿泊業・結婚式場業等の業界団体に対し、事業者・施設・店舗への展開を依頼し配布

回答90店舗の業態の内訳



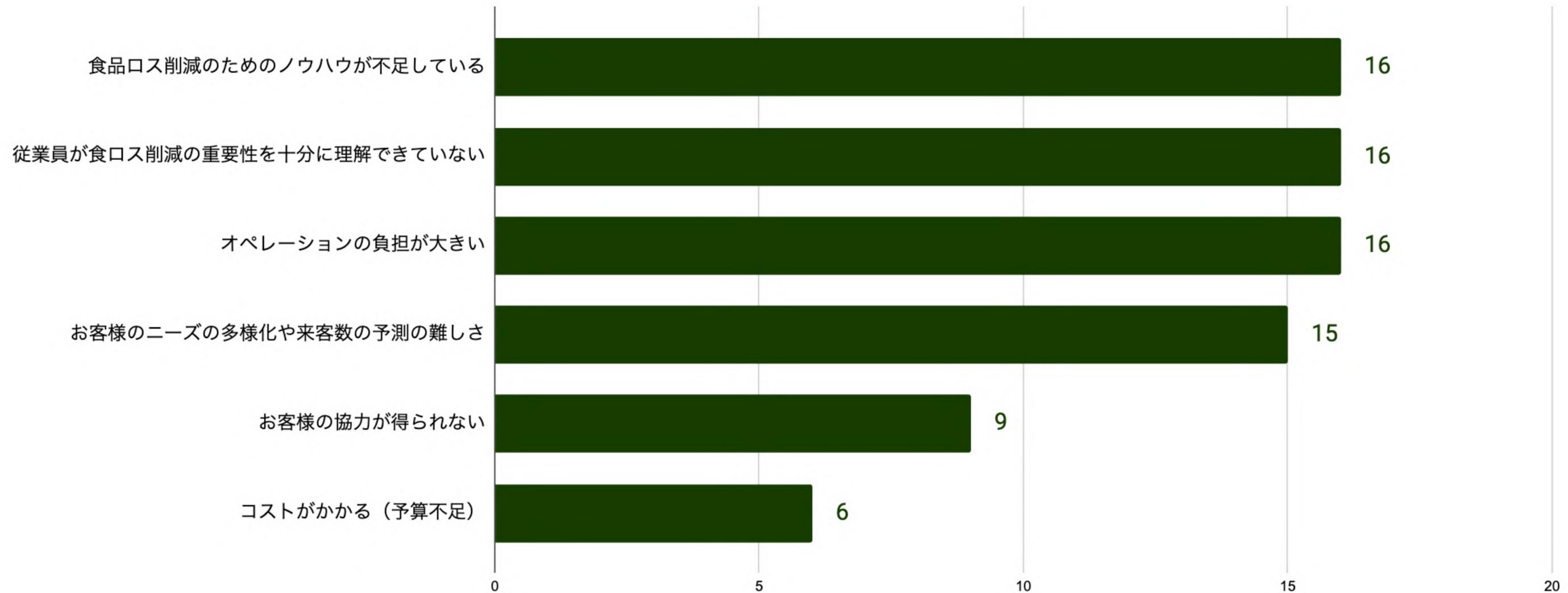
アンケート調査結果 *一部抜粋

設問：食品ロス削減に向けて実施している取り組みの内容とその効果について回答ください



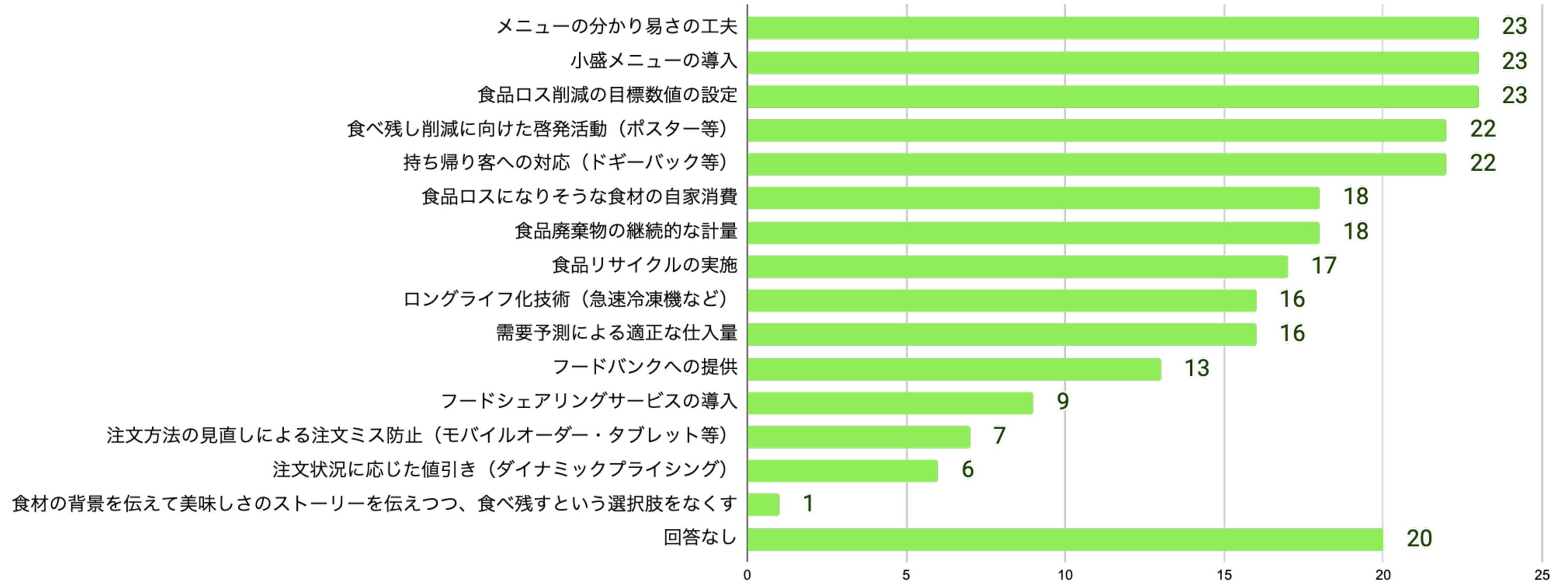
アンケート調査結果 *一部抜粋

設問：現在実施している取り組みに対して感じている課題はありますか？



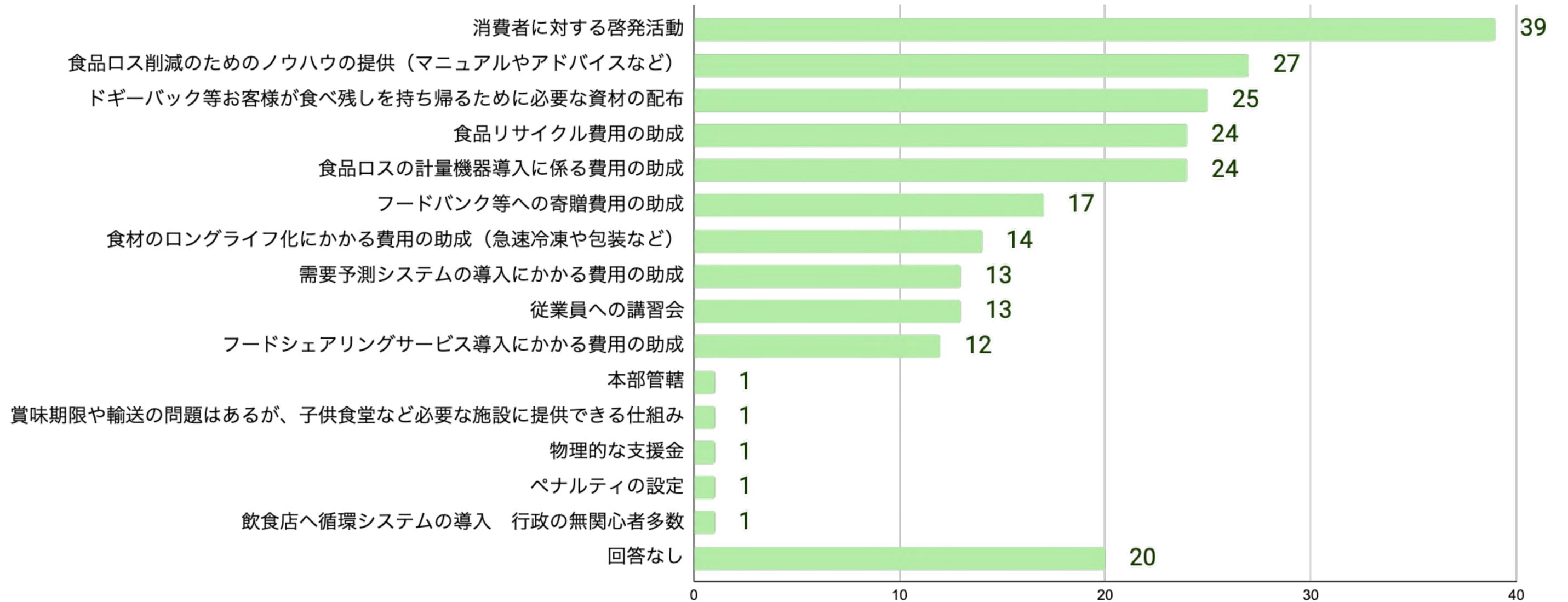
アンケート調査結果 *一部抜粋

設問：現在実施している食品ロス削減対策に限らず、今後実施すると効果が期待できそうだと思う対策を教えてください



アンケート調査結果 *一部抜粋

設問：食品ロス削減に関する対策として、東京都からどのような支援があると効果的だと思いますか？



外食産業における効果的な食品ロス削減対策例

01. 持ち帰り容器の利用促進



02. ノウハウの提供



03. “食べ切り協力店”の 認知向上・消費者啓発



04. 食品廃棄物の“見える化”



05. 需要予測システム導入促進



RECOTECH